

## 令和 5 年のアユ遡上数に影響した要因

令和 5 年の多摩川におけるアユの推定遡上数は、200 万尾を超えたものの、昨年よりも若干の減少が見られた。要因として以下のことが考えられる。

- 昨年のアユの産卵期において、産卵が盛んに行われたとみられる 12 月の合計降水量が 52 ミリと少なく、増水に伴い行われる孵化仔魚の東京湾への流下が促進されなかった。
- また、今年のアユの遡上期における降水量が少なく、4 月の合計降水量は 57 ミリと過去 8 年間で最低であり、アユの遡上が促進されなかった。

※降水量は気象庁 HP より府中の観測値を参照

これらの影響から、今年のアユの遡上数は昨年より少なくなったものと考えられた。

なお、荒川、利根川といった他河川のアユの遡上数も昨年より減少傾向である。

※(独)水資源機構 HP 参照

### アユの生態

- ・寿命は 1 年。
- ・産卵期は秋で、川の下流域で産卵が行われる。
- ・川でふ化した仔アユは海へ流下し、冬の間を海で過ごす。
- ・春に川を遡上し、夏は川の上流～中流域で成長して、秋に川をくだり、産卵する。

